

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》永野 善広（非常勤講師）

【概要】

フランス語の発音と綴り、そして基本的文章の構成を学ぶ。

【学習目標】

フランス語の基本事項の修得を目標とし、次の事項を到達目標とする。

[一般目標]

アルファベットでありながら英語とは異なるフランス語の発音を身につける。

フランス語の基本的文章構造を理解する。

日本語とフランス語の類似性と相違性を考えられる。

[行動目標]

綴り字（スペル）と発音の関係を規定するフランス語特有の「規則」を修得することで、フランス語を正確に発音できる。

フランス語固有の動詞の活用と冠詞を理解し、動詞や冠詞を適切に使用できる。

フランス語の基本文法を修得し、フランス語の意味を深く解釈できる。

フランス語の基礎文法を活用して、フランス語で正しく相手に伝えることができる。

語彙力を伸ばす。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	第一課	ガイダンス、アルファベットの発音、母音字の説明、文章の基本的構造	永野 善広
2	第二課	挨拶、お礼、お詫びなどの表現について説明できる。	永野 善広
3	第三課	名詞の男性形と女性形と不定冠詞、定冠詞、部分冠詞の説明ができる。	永野 善広
4	第四課	第一規則動詞活用と否定形の説明ができる。	永野 善広
5	第五課	動詞êtreとavoirについて、指示形容詞、数字の言い方を説明できる。	永野 善広
6	第六課	形容詞の使い方、国名と国籍、時間の言い方を説明できる。	永野 善広
7	第七課	動詞allerとvenirの活用と用法、曜日と月の名前を説明できる。	永野 善広
8	第八課	疑問文、所有形容詞、前置詞を説明できる。	永野 善広
9	第九課	第二規則動詞の活用、命令形、60～の数字の言い方が説明できる。	永野 善広
10	第十課	疑問副詞、動詞faireとprendreの活用と用法を説明できる。	永野 善広
11	第十一課	過去形の作り方を説明できる。	永野 善広
12	第十二課	動詞vouloir、pouvoir、devoirの活用と用法、疑問形を説明できる。	永野 善広
13	第十三課	比較級と最上級について説明できる。	永野 善広
14	第十四課	筆記試験対策	永野 善広
15	第十五課	筆記試験対策	永野 善広

【評価方法】

定期試験100%

【備考】

教科書：「クロワッサン～基礎からわかるフランス語」朝日出版社

参考書 : 辞書等は、第一課の授業中にて紹介する。

**【学習の準備】**

講義中、フランス語で問いかける場合があるので、創造力を働かせること。

予習として20分程度、文を読み、発音を練習する。

疑問に思う文法項目を自分で調べ、授業中に理解できない場合は質問すること。

復習として20分程度。動詞の活用や冠詞を理解する。学習した文法項目を再確認する。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得するという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。